



—北アフリカ地域ニュース—

アルジェリア：マグロ漁の規制強化

(5月12日付 AFP 通信)

1. 5月12日、国内漁業者に対し、排他水域におけるマグロ漁の外国漁業者との共同操業を禁じた漁業大臣令が官報に掲載された。  
同令では各漁船に2名の管理官を同乗させることや、全てのマグロ漁船及び曳航船に、操業の追跡を確実にするために、検波装置を備えつけることを義務付けた。漁業行政および沿岸警備を代表する2名の管理官は、それぞれの漁における正確な操業場所を記載したマグロ漁船長のレポートを受け取ることになる。
2. また、同令では、国際取り決めに従って、「24メートル以上の巻き網漁船の船主は、大西洋マグロ類保存国際委員会（ICCAT）の監察官を同乗させなければならない」と規定している。
3. なお、10日、アルジェリア水域でのマグロ漁の不正操業により、2人の漁業省幹部を含む4人のアルジェリア人及び5人のトルコ人がアンナバ裁判所より、禁固3年の判決を受けた。